

令和 8 年度調査研究テーマ及び概要

調査研究テーマ	概要
青森県における大気中トリチウムの化学形別濃度調査	トリチウムは、大気中において種々の化学形（水蒸気状 (HTO)、水素ガス状 (HT)、有機トリチウム状 (CH <sub>3</sub> T 等)) で存在するため、バックグラウンド地域及び六ヶ所再処理工場周辺地域において化学形別の実態調査を行い、モニタリング結果の評価に資する。
環境試料中のトリチウム、炭素-14 及びヨウ素-129・131 調査 (日本原燃(株)との共同研究)	再処理工場から放出される放射性物質による環境への影響を把握し、環境モニタリングにおける線量評価の妥当性を確認するため、施設周辺地域において県及び日本原燃株式会社が共同で、野菜や海産食品等に含まれるトリチウム、炭素-14 及びヨウ素-129・131 の調査を行う。
ICP 質量分析法による環境試料中のプルトニウム同位体調査	環境試料（湖底土、表土及び海底土）を対象とし、ICP 質量分析装置を用いたプルトニウムの分析条件、測定条件や環境試料中における検出可能レベルの検討を行う。 さらに、日本原燃（株）六ヶ所再処理工場において平成 18～20 年度に行われた使用済燃料のせん断・溶解試験以降に採取された土試料を対象に、Pu-239 及び Pu-240 の調査を行う。